

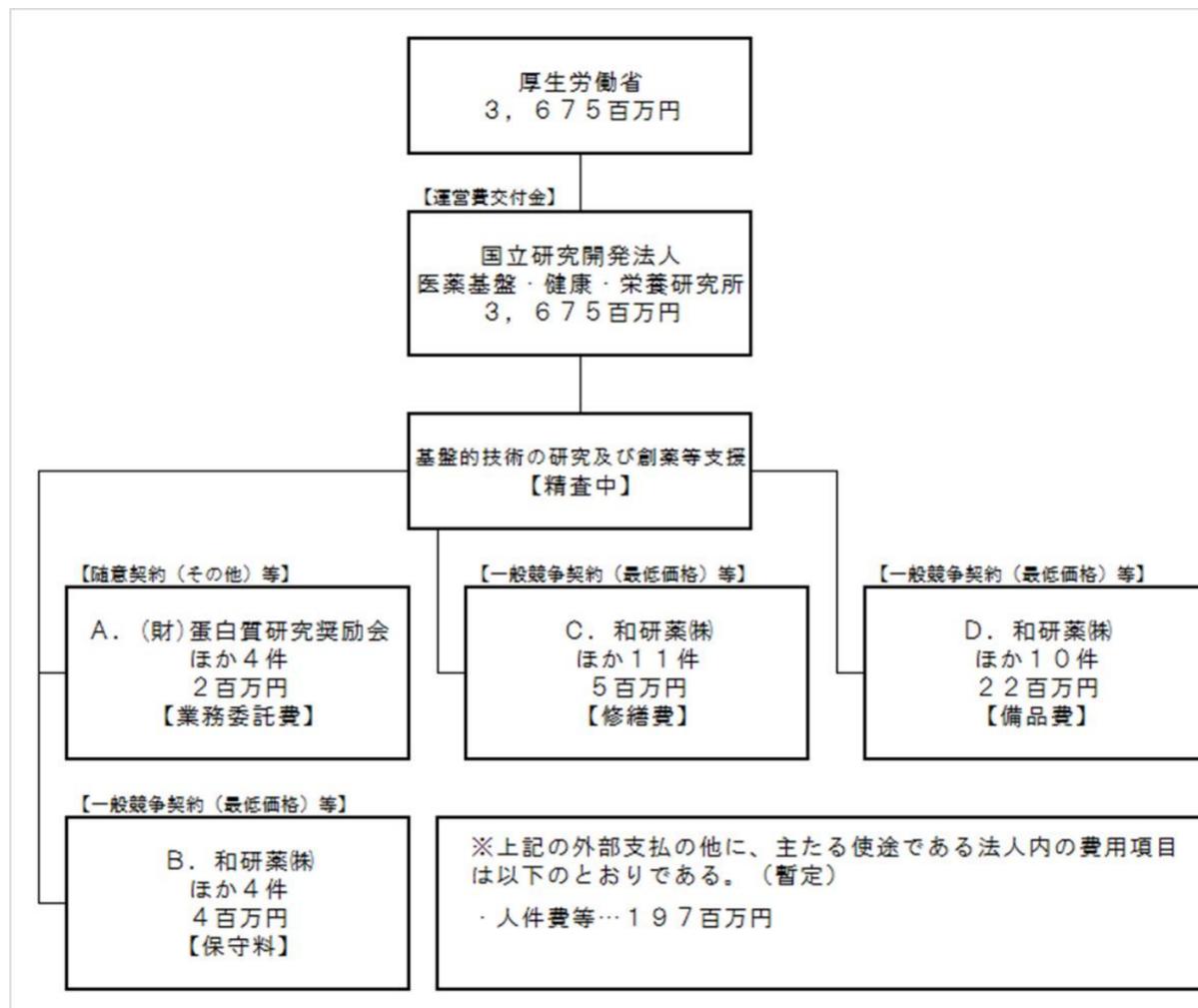
平成29年度セグメントシート ( 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 )

セグメント名	基盤的技術の研究及び創薬等支援			担当部局	大臣官房	作成責任者			
事業開始年度	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	厚生科学課	浅沼 一成			
会計区分	一般会計								
セグメント単位の考え方	独立行政法人評価制度におけるセグメント分けに基づき作成した。								
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所法(平成16年法律第135号)			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」、「科学技術基本計画」、「健康・医療戦略」				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界最高水準の医療の提供に寄与する革新的な医薬品等の開発に資するよう事業を実施するという観点から、難病対策、新興・再興感染症対策、迅速な新薬等の開発、抗体・核酸医薬等の開発の推進等の国の政策課題の解決と国の経済成長に寄与することを目標に、以下の研究及び創薬等支援に取り組む。 なお、創薬支援ネットワークの一環として創薬支援を行う場合は、日本医療研究開発機構等と緊密に連携を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>(1) 難病治療等に関する基盤的研究及び創薬等支援 難病等に対する研究は、公的研究機関で担うべき研究の一つであることから、難病等について、分子病態の解明、治療法や医薬品等の研究開発及び関連する基盤的技術の研究開発を行い、標的因子の探索及びその構造・機能解析、医薬品候補物質等の創製・臨床応用等を目指す。また、その成果等も活用して医薬品等の開発を支援する。</p> <p>(2) ワクチン等の研究開発及び創薬等支援 新興・再興感染症対策等に資するため、ワクチン及びその免疫反応増強剤(アジュバント)並びに免疫システム等を基盤とした治療法、医薬品等の研究開発を行い、ワクチン等の開発につながる基礎技術の開発等を目指す。また、その成果等も活用してワクチン等の開発を支援する。</p> <p>(3) 医薬品等の安全性等評価系構築に向けた基盤的研究及び創薬等支援 創薬等に関する研究の加速化を図るため、幹細胞の分化誘導系等を利用すること等により、医薬品・医療機器の安全性等の評価系の構築に向けた基盤的研究を行い、安全性バイオマーカーの開発、幹細胞等の培養環境の整備、新規細胞評価系の構築等を目指す。また、その成果等も活用して医薬品等の開発を支援する。</p> <p>(4) 抗体・核酸に係る創薬等技術の基盤的研究及び創薬等支援 抗体・核酸医薬等の開発を推進するため、抗体・核酸のスクリーニング、最適化、デザイン等に関する技術の研究を行い、スクリーニング、最適化、デザイン等に関する新規技術の開発等を目指す。また、その成果等も活用して抗体・核酸のスクリーニング、最適化、デザイン等の創薬等支援を行う。</p>								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求			
	経常収益	予算額: 運営費交付金	-	259	357	401	-		
		運営費交付金	-	232	400				
		補助金等	-	-	0.3				
		その他	-	1,298	1,267				
		計	0	1,530	1,667.3				
	運営費交付金収益の割合	#VALUE!	15.2%	24.0%					
	運営費交付金収益化基準	-	費用進行基準	業務達成基準 期間進行基準	業務達成基準 期間進行基準				
	経常費用	予算額	-	430	781	401	-		
		執行額	-	1,831	1,556				
執行率		#VALUE!	426%	199%					
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	人件費	109	-						
	運営費	75	-						
	事業費	217	-						
	計	401	-						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 33 年度	
	基盤的研究の研究成果を積極的に発表	査読付き論文の科学ジャーナル等への掲載数	成果実績	報	-	87	132		
			目標値	報	-	76	76	-	76
			達成度	%	-	114.5	173.7		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所平成28年度分内部研究評価委員会資料								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込															
	研究発表を学会で積極的に実施。 学会での発表回数。	活動実績		回	-	266	218	-	-														
当初見込み			回	-	-	256	256	256															
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込																
	論文投稿費用(円)／論文掲載数	単位当たり コスト	円	-	27,287	20,162																	
		計算式	/		-	2,373,992/87	2,661,361/132																
独法等所管部局による点検・改善																							
	項目		評価	評価に関する説明																			
国費 要投入 の必	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、広く国民のニーズがある。																			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の政策課題の解決に向けて実施している事業である。																			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、優先度の高い事業である。																			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一部の契約を除き一般競争入札を実施し、競争性の確保に努めている。																			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	また、随意契約については一般競争入札への移行を図り、競争性・透明性を確保するとともに、経費の削減に努めていく。一般競争入札としたが、一者しか応札のないものや、落札者がなく随意契約となったものについても、条件の見直し等により、応札者を増やす取組を進めていく。																			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有																				
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-																			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の遂行について、妥当なコスト水準を維持している。																			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	監査法人の監査を受けており、合理的な支出となっている。																			
事業の 有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。																			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	事務用品の一括調達、コピー機等の複数年リース契約等に加え、高額研究機器のリース契約を行い、効率化に資する取組を推進した。																			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果実績は成果目標を上回っており、見合ったものとなっている。																			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	研究所の会計規程等に則り契約を行っており、他の方法等より低コストで実施することが出来る。																			
関連 事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	活動実績は当初見込を下回っているものの80%は達成している。																			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	研究成果を通じて医薬品等の開発を支援している。																			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>厚生労働省</td> <td>0887</td> <td>国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金は施設整備のための経費であり、本事業とは事業目的が異なるため、適切な役割分担が行えている。					所管府省名	事業番号	事業名	厚生労働省	0887	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金									
	所管府省名	事業番号	事業名																				
	厚生労働省	0887	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金																				
点検結果	・原則一般競争入札が行われ、競争性が確保されている。 ・これまで随意契約であった役務等を一般競争入札とした。																						
改善の 方向性	予算をほぼ執行できる見込みであり、事業の目標も達成できており、このまま継続して事業を実施する。																						
備考	平成27年度より新規中長期計画がスタートし、セグメントが変更となったため、平成26年度以前の予算額等については未記載とした。																						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)



費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)蛋白質研究奨励会			B.和研薬株		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
業務委託費	プロテオーム解析支援データベースシステムの開発 実証サーバー作成 1式	1	保守料	自動細胞解析分離装置 FACSAria II 保守1式	2
			保守料	ジェネティックアナライザ 保守 1式	1
計		1	計		3
C.和研薬株			D.和研薬株		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
修繕費	FACSAria修理 1式	2	備品費	ガスクロマトグラフ四重極質量分析計 1式 購入	9
修繕費	FACSAria II セルソーター修理 1式	1	備品費	卓上遠心エバポレーター miVac Duo LV 1式	1
修繕費	フラックスアナライザ-XFe24サーマルレイ交換修理 1式	1			
計		4	計		10

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	(財)蛋白質研究奨励会	2120905003331	プロテオーム解析支援データベースシステムの開発 実証サーバー作成 1式	1	随意契約(その他)	-	100%	
2	(株)日興商会 高槻支店	1140001050558	電話LAN電気配線工事 1式	0.4	随意契約(少額)	-	100%	
3	(株)ウインクス	4130001032372	Q Exactive四重極洗浄作業 1式	0.4	随意契約(少額)	-	100%	
4	Institut Pasteur	-	Maintenance Fee for HLA2.1	0.4	随意契約(少額)	-	100%	
5	個人	-	論文投稿料「WPY HINDAWI PUBLISHING」立替払	0.2	その他	-	100%	

B

